

平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業機械	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者		使用教材	農業機械(実教)				
学習目標	○農業機械化の意義と役割、またその利用と現状を把握する。 ○農業機械の操作に伴い、道路交通法等を学び基本運転操作を身につけ、事故防止に努める。 ○様々な機械の作業を通じて機械名と作業手順を把握する。 ○内燃機関・電動機について学び、使用燃料と動力伝達について理解する。						
学習方法	○トラクターの基本操作と作業機の構造を確認して、安全な作業について学ぶ。 ○機械の点検整備、作業効率と機械を長持ちさせる技術を学ぶ。 ○機械を利用した農業生産を学ぶ。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	農業機械に関する諸課題について興味・関心を持ち、その利点・効果を利用して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業機械の維持管理に必要な知識と技術を基に、農業機械を利用する者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。				
	技	技能	農業機械の取扱いと正確・安全な運転操作を身につけ、その技術を適切に活用している。				
	知	知識・理解	農業機械に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業機械の意義や役割を理解している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	○農業機械の役割 ○作業機 ○トラクタ	・農業機械化の意義 ・農業機械の利用とその現状 ・耕うん、整地用機械 ・たねまき機、育苗用機械 ・移植機の基本操作 ・除草機 ・乗用トラクタの種類と基本操作 ・作業機の装着	○	○	○	○	[関]農業機械に関心を持ち、その構造などを積極的に理解しようとしている。 [思]機械化による利点について考察できる。 [技]機械の基本操作など基礎的な技術を身に付けている。 [知]農業を取り巻く社会変化とともに、農業機械の利用法等が変化してきていることを理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	○原動機 ○トラクタ ○作業機	・種類 ・4サイクルガソリンエンジンの作動原理 ・4サイクルガソリンエンジンの構造 ・そのほかのエンジン ・燃料と潤滑油 ・電動機の種類と回転原理 ・三相誘導電動機の取扱い ・乗用トラクタの種類と基本操作 ・点検調整 ・歩行用トラクタ ・飼料作用収穫・調整機械	○	○	○	○	[関]エンジンの構造に関心を持ち、その作動原理などを積極的に理解しようとしている。 [思]原動機に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [技]トラクタなどのに関する基本操作技術を身に付け、安全に活用している。 [知]原動機の基礎となる知識を身に付け、安全な運転操作を理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
後期中間	○トラクタ ○作業機 ○農業機械と安全	・けん引の基本操作 ・稲作用収穫、調整機械の種類と利用 ・コンバイン及びもみすり機の構造、特徴 ・耕耘整地用機械 ・育成管理用機械 ・畑作用収穫、調整機械 ・飼料用収穫、調整機械 ・農業機械の整備と保守 ・ガス溶接、アーク溶接の利点と取扱い	○	○	○	○	[関]作業機の構造に関心を持ち、その作動原理などを積極的に理解しようとしている。 [思]作業機の現状と今後の諸課題について解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [技]農業機械の基礎的な操作技術を身にけるとともに、ガス・アーク溶接の安全な取扱いができる。 [知]作業機などの基礎となる知識を身に付け、その利用性を理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	○作業機 ○農業機械と安全 ○農業生産と農業機械の利用	・運搬用機械の種類と操作方法 ・環境調節用機械の利点と構造 ・農作業による事故と健康障害 ・農業生産における農業機械の利点	○	○	○	○	[関]農業機械の安全性を理解するとともに、機械化による農業生産を積極的に理解しようとしている。 [思]作業事故に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 [技]機械の基本操作、機械による作業の効率について計算できる。 [知]農業機械による事故防止の方法を身に付け、機械化の経済性を理解している。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査

